

基盤整備 委員会

重点調査項目

公共物の効果的な運用

(道路・水路・橋りょう・水道管など)

「公共物の効果的な運用」

【政策提言】

重点調査項目として掲げ研究してきた「公共物の効果的な運用」について、政策討論会において全議員の賛同を得て市長に政策提言しました。

◆ 政策提言の概要 ◆

- ① 公共施設の計画的な維持・更新を管理するため、全庁的な担当部署を設けること
- ② アセットマネジメントによる実行計画を早期に作成し、財政規模に見合った財産を保有すること

- ② 開削工法は急勾配が
- ① 交通量の推計調査対象区間が整備された場合の将来交通量は4,800台/日と推計され、周辺路線は減少。
- ② 開削工法は急勾配が
- 町内環境整備における予算について
要望実施状況
・平成22年度 要望件数646件 実施済324件 (実施率50.2%)
・平成23年度 要望件数620件 実施済330件 (実施率53.2%)
・進捗状況がわかるシステム管理を進めている。

○ 環境行政におけるこ

・システムの構築は、上水道に限らず税等も含め全庁的に取り組むべきと考える。
・この課題は平成24年度「公共物の効果的な運用」の調査の中で継続して研究し、政策提言につなげた。

○ 環境アセスメント・

設計、28年度から建設工事に着手。
・この課題は平成24年度「公共物の効果的な運用」の調査の中で継続して研究し、政策提言につなげた。

○ 水道管の早期耐震化とGISの導入について

・新ごみ処理施設の用途選定については、公開でおこなうことによる様々なリスクを回避するため行政側で行う方針。
・スケジューリングは平成25年度中に建設予定地の地元と協議し決定、26、27年度で環境アセスメント・

基盤整備委員会として昨年度、政策提言した項目の進捗と、今年度、継続調査してきた課題について、行政側の対応や今後の方向性を報告します。



老朽化が進んでいる現在のごみ処理施設

・検討委員会は学識経験者、各種団体、地元町内会、女性団体のほか公募による一般市民も加える。

○ 都市計画とまちづくりについて



国際観光都市である高山市として、歩行者と自転車の通行分離が望ましい路線を調査研究、決定し、モデル地区的な思考も必要である。

○ 市道千鳥く松之木線の延長について

6月18日基盤整備委員会に理事者より「内環状道路網調査結果及び今後の方針について」報告。
・道路整備に係る費用及び便益の算出。

○ 町内環境整備における予算について

要望実施状況
・平成22年度 要望件数646件 実施済324件 (実施率50.2%)
・平成23年度 要望件数620件 実施済330件 (実施率53.2%)
・進捗状況がわかるシステム管理を進めている。

③ 国及び地方の財政がひっ迫する中、新たなインフラ整備には今まで以上に効果や将来負担など踏まえた慎重な検討が必要である。膨大な費用を必要とする他事業が予定されている中、事業の優先性の検討を踏まえ、課題整理と費用便益の再確認など詳細な検討を行っていく。